

2019年8月27日

報道関係者各位

株式会社藤崎
株式会社オンワードホールディングス

藤崎 × オンワード

東日本大震災で被災された子どもたちへの支援に向けた共同企画 期間限定で開設した『オンワード・リユースパーク』の収益の一部を 「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付

株式会社藤崎(本社:宮城県仙台市 代表取締役社長:藤崎 三郎助)と株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:保元 道宣)は、東日本大震災で被災された子どもたちの支援のために、「オンワード・グリーン・キャンペーン」でお引き取りした衣料品をチャリティー価格でご提供する期間限定ショップ『オンワード・リユースパーク』を共同で開設しました。その収益の一部である100万円を8月27日(火)、「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付しましたのでお知らせいたします。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」は、オンワードグループの環境経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品をお客様から引き取り、可能な限りリユース・リサイクルすることを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。

藤崎とオンワードは、同キャンペーンを2009年の秋より共同で開催しており、2019年春の実施[4月11日(木)~5月12日(日)]で12回目を迎えました。これまでに、キャンペーンの趣旨にご賛同いただいた累計32,143名のお客様から183,358点の衣料品をご提供いただきました。

この度の寄付は、東日本大震災で被災された多くの子どもたちへの支援に向けた共同企画として、昨年に引き続き2回目となります。今回は多くの方々にご賛同いただき、期間中のショップ収益の一部である100万円を「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたしました。今回は、6月5日(水)から6月10日(月)の間、藤崎一番町館3階に期間限定ショップとして環境コンセプトショップ『オンワード・リユースパーク』を開設。過去に開催した「オンワード・グリーン・キャンペーン」でお引き取りした衣料品の中から状態の良いものを選別し、すべてクリーニングを施した婦人服、紳士服、子ども服、服飾雑貨などをチャリティー価格でご提供しました。期間中のショップ収益の一部である100万円を、8月27日(火)、宮城県庁を通じて「東日本大震災みやぎこども育英基金」へ寄付いたしました。

【「東日本大震災みやぎこども育英基金」寄付金贈呈式】

■日 時	2019年8月27日(火) 11:30~11:50		
■場 所	宮城県庁7階 保健福祉部子育て社会推進室		
■出席者	宮城県 株式会社藤崎 株式会社オンワード樫山	保健福祉部長 執行役員本店長 東北・北関東担当	伊藤 哲也 様 勢田 誠一 小水内 俊浩
■寄付金	100万円		



【寄付金贈呈式の様子】

右から宮城県 保健福祉部長
株式会社藤崎 執行役員本店長
株式会社オンワード樺山 東北・北関東担当

伊藤 哲也様
勢田 誠一
小水内 俊浩